

女性と社会のつながり支援事業【福岡県】

総事業費

5,984千円

交付金額

4,488千円

地域の実情と課題

- 長引くコロナの影響により、生活環境の変化、女性が多い非正規労働者の収入減による将来への不安、DV被害の増加や深刻化の懸念など、女性を取り巻く様々な困難さが増大し、社会とのつながりが希薄になっている。
- また、困難や不安を抱えながらも自ら支援を求めない女性に対して、様々な専門機関の支援が届きにくい状況となっている。

事業の特徴

NPO等とのネットワークを活用した子ども食堂・フードバンク等での相談会を実施。

事業の効果

専門機関との連携を行う等、様々な不安や困難を抱える女性に寄り添った支援を実施。

目的・目標

様々な困難や不安を抱える女性が、NPO等民間団体によるアウトリーチ型支援により、社会とのつながりを回復し、就労支援や生活支援等の支援を受けることができる。

連携団体

つながりサポート団体等連絡会議

今後の課題

- 困難を抱える女性へ支援を届けるために、子ども食堂やフードバンク等の既存の支援団体との連携を強化し、効果的なアプローチをしていくことが必要。
- 困難を抱える女性が気軽に相談できるよう、当事業についてのさらなる広報・周知。

女性と社会のつながり支援

コロナ禍において不安を抱える女性が、社会とのつながりを回復することができるよう、NPO等民間団体の知見や能力を活用したきめ細かい支援を実施。

(1) 連携会議の設置

民間団体及び県の関係課で構成。情報共有を行い、専門機関へつなぐ

(2) 相談支援

電話・メールやSNSによる相談支援、面談、就労支援や生活支援等を行う専門機関へのつなぎ・同行支援等及び相談会の実施

(2) 生理用品の提供

支援の対象となる女性に対して、相談支援の一環として生理用品を提供

※子ども食堂での生理用品等提供の様子

